

マラリアと植民地支配を関連付けて考察する問題

共通テスト 第1問 問2

問2 1班は、続いて、表1を作成し、各国が行った19世紀末以降のマラリア研究について考察した。表1中の空欄 **ア** に入る語句と、**イ** に入る文との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

表1 各国のマラリア研究に関する動向

国名	時期	研究対象とした地域
イギリス	19世紀末～20世紀初め	アフリカやインド
日本	19世紀末～20世紀前半	下関条約で獲得した ア
アメリカ合衆国	20世紀初め	パナマ運河開削時のラテンアメリカ
【まとめ】各国のマラリア撲滅を目指した研究は、いずれも イ ために利用されたと考えられる。		

- ① ア—朝鮮 イ—自らの勢力圏や植民地を維持・拡大する
- ② ア—朝鮮 イ—第三世界の台頭に対抗する
- ③ ア—台湾 イ—自らの勢力圏や植民地を維持・拡大する
- ④ ア—台湾 イ—第三世界の台頭に対抗する

第3回ベネッセ・駿台マーク模試 第1問 問3

問3 下線部②に関連して、南部さんは、帝国主義とマラリア対策の関係に关心を持ち、台湾におけるマラリア対策が説明されている資料2を収集した。会話文から読み取れるイギリスのインドにおけるマラリア対策と資料2との共通点を述べた文あ・いと、会話文と図1から推測されるイギリスによるインドの鉄道建設の目的X・Yについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

資料2 台湾総督府警務局衛生課の報告資料（1932年）

「マラリア」は蚊によって伝播し罹患を免れるためには蚊に刺されぬよう蚊帳の使用などが必要であること、罹患すればこれを完全に治さねばならないことなど、個人衛生のほか、公衆衛生の建前から必要である事項に関連し予防思想の向上を図らねばならない。予防方策については蕃人（注）に信じさせなければならないので、講話や図解あるいは活動写真などによって熱心に教養せねばならない。

（注）蕃人：日本人が台湾の原住民を「未開」とみなす認識に基づく呼称。

- イギリスのインドにおけるマラリア対策と資料2との共通点
- あ イギリスと日本はどちらも植民地支配下においている人々を「劣った」存在とみなしたうえで、マラリア対策をしている。
 - い イギリスと日本はどちらも植民地支配下においている人々に対して感染症予防をすることで、マラリア対策をしている。

イギリスによるインドの鉄道建設の目的

X イギリスは、インドの現地住民の交通の便をはかることを主目的として鉄道を敷設した。

Y イギリスは、自国の工業製品の原料を港に集積するために鉄道を敷設した。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

共通テストでは、イギリス、日本、アメリカ合衆国のマラリア研究が取り上げられ、日本が下関条約で獲得した地域や、各国のマラリア研究に共通する目的が問われた。第3回ベネッセ・駿台マーク模試では、台湾におけるマラリア対策を説明した資料を踏まえ、日本とイギリスのマラリア対策の共通点が問われた。いずれもマラリアと当時の植民地支配を関連付けて考察する問題であった。

院政期の政治と莊園群の特徴に関する問題

共通テスト 第4問 問4

問4 下線部④に関して述べた文あ・いと、下線部⑤に関して述べた文X・Yとにについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

23

下線部④に関して述べた文

- あ 国司が知行国主として一国の支配権を握る知行国の制度が広まった。
い 院下文や院宣が、国政に大きな影響を及ぼした。

下線部⑤に関して述べた文

- X 八条院領が形成された時期には、耕地に加えて山・川などを取り込んだ領域型莊園が各地に見られた。
Y 八条院領と同様の性格をもつものとしては、後鳥羽上皇の所領を基とする長講堂領がある。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

【出典】2026年度大学入学共通テスト（本試験）より

2026直前演習 第1回第4問 問1

スライド1

1. 院政期から鎌倉時代にかけての莊園について

1-1 院政期の莊園

- ・鳥羽院政期や後白河院政期に、莊園の寄進が増加した。
→それぞれの院領莊園群が形成された。

1-2 鎌倉時代の莊園

- ・公家が本所の莊園と、武家が本所の莊園が存在していた。
- ・承久の乱後、各地で地頭の任命が増加した。
→地頭と莊園領主との争いが増えた。

1-3 まとめ

院政期に形成された鳥羽上皇と後白河上皇の院領莊園群は、鎌倉時代に皇統が大覺寺統と持明院統に分かれると、それぞれの経済的基盤となつた。また鎌倉時代には地頭の莊園侵略が進み、莊園領主は地頭請（所）や下地中分などで対応した。

問1 下線部④に関して、鳥羽上皇が形成した莊園群の名称甲・乙と、その後の莊園群の継承について述べた文a・bとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 20

甲 長講堂領 乙 八条院領

- a 後深草天皇から発した持明院統に継承された。
b 亀山天皇から発した大覺寺統に継承された。

- ① 甲—a ② 甲—b ③ 乙—a ④ 乙—b

【出典】2026直前演習歴史総合、日本史探究より



共通テストでは、鳥羽上皇が政治を行っていた院政期と、八条院領が形成された時期の莊園の特徴が問われた。2026共通テスト直前演習では、院政期から鎌倉時代の莊園についてまとめたスライドから、鳥羽上皇が形成した莊園群に関する知識を問うた。いずれも、院政期の莊園の特徴を問うもので、上皇が形成した莊園と同時期の莊園の特徴を押さえておくことが求められた。

革命の過程で女性が果たした役割について問う問題

共通テスト 第3問 問2

問2 会話文中の下線部④に関して述べた文あ・いと、空欄 **ア** に入る文X・Yとについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

17

下線部④に関して述べた文

あ 女性を中心とした多数の民衆がヴェルサイユに行進し、国王一家をパリへ連行した。

い オランプ＝ド＝グージュは、ラ＝ファイエットらとともに「人権宣言」の起草に関わった。

アに入る文

X 家父長權は肯定されたよ

Y 家父長權は否定されたよ

① あ-X

② あ-Y

③ い-X

④ い-Y

【出典】2026年度大学入学共通テスト（本試験）より

2026直前演習 第4回第3問 問3

問3 下線部④について、1789年、パンの値上げなどによる食料難に苦しむパリの民衆の女性たちが中心となって起こした出来事の名称あ・いと、その出来事の結果について述べた文X・Yとについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **18**

出来事の名称

あ 8月10日事件

い ヴェルサイユ行進

出来事の結果

X 王家がパリに移転し、国民議会もパリに移った。

Y 王権が停止され、国民公会が招集されることになった。

① あ-X ② あ-Y ③ い-X ④ い-Y

【出典】2026直前演習歴史総合、世界史探究より



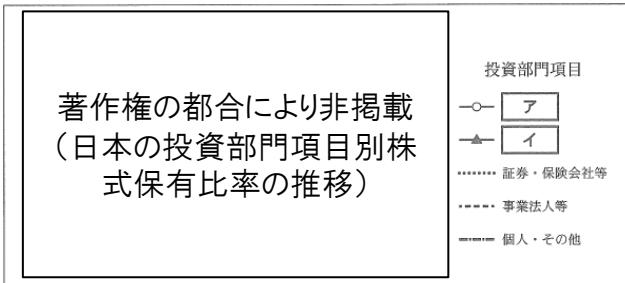
共通テストでは、「革命の過程で女性が果たした役割」という視点からフランス革命について問われた。2026共通テスト直前演習でも同様に、女性の役割に着目し、ヴェルサイユ行進とその結果を問うた。いずれも、ジェンダーという現代的な課題の視点から歴史を考察する点が共通しており、フランス革命における女性の役割とその影響に関する理解が求められた。

投資部門別株式保有比率の推移を判別する問題

共通テスト 第4問 問3

問3 下線部④に関連して、生徒Yは、次の図をみながら、後のメモを作成した。
図中とメモ中の ア ~ ウ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。 18

図 日本の投資部門別株式保有比率の推移



(注) 株式保有比率が1%未満の項目は省略した。
(出所) 日本取引所グループ Web ページにより作成。

メモ

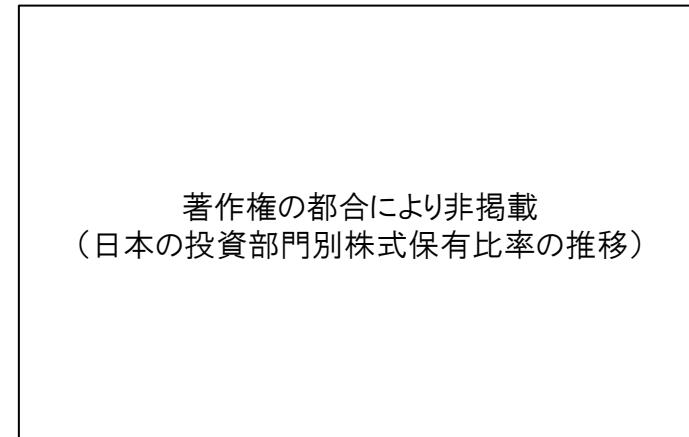
図中の ア と イ は、1990年代以降の金融の自由化の影響を受けた対照的な動きを示している。 ア の株式保有比率の動きは、企業集団内における株式の持合いの ウ に向かう変化に対応している。また、 イ の株式保有比率の動きは、企業が短期的な収益を追求することや、株主の意向がより強く経営方針に反映されることへつながっている。

- | | | |
|--------------|------------|------|
| ① ア 外国法人・外国人 | イ 普通銀行 | ウ 強化 |
| ② ア 外国法人・外国人 | イ 普通銀行 | ウ 解消 |
| ③ ア 普通銀行 | イ 外国法人・外国人 | ウ 強化 |
| ④ ア 普通銀行 | イ 外国法人・外国人 | ウ 解消 |

第3回ベネッセ・駿台マーク模試 第4問 問6

問6 下線部④に関連して、生徒Xは親が株主優待の話をしているのを聞いて、日本の株式会社の株式の保有者について調べた。次のグラフ2は外国法人等、事業法人等、金融機関、個人・その他が持つ株式保有比率の推移である。グラフ2中の空欄 ア ~ ウ に当てはまる保有者の組合せとして最も適当なものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 20

グラフ2 投資部門別株式保有比率の推移



(出所) 「2023年度株式分布状況調査の調査結果について」日本取引所グループにより作成。

- | | | |
|------------|----------|----------|
| ① ア 外国法人等 | イ 金融機関 | ウ 個人・その他 |
| ② ア 外国法人等 | イ 個人・その他 | ウ 金融機関 |
| ③ ア 個人・その他 | イ 金融機関 | ウ 外国法人等 |
| ④ ア 個人・その他 | イ 外国法人等 | ウ 金融機関 |
| ⑤ ア 金融機関 | イ 個人・その他 | ウ 外国法人等 |
| ⑥ ア 金融機関 | イ 外国法人等 | ウ 個人・その他 |

いずれも日本の投資部門別株式保有比率の推移を示したグラフが出題された。共通テストでは、メモの内容を踏まえて普通銀行と外国法人・外国人の株式保有比率と、その推移の背景について問われた。第3回ベネッセ・駿台マーク模試では、グラフ中の3つの指標の判別が問われ、バブル景気の崩壊後に株式の持ち合いが解消して金融機関の株式保有比率が低下することの理解が求められた。

マラリアと植民地支配を関連付けて考察する問題

共通テスト 第1問 問2

問2 1班は、続いて、表1を作成し、各国が行った19世紀末以降のマラリア研究について考察した。表1中の空欄 **ア** に入る語句と、**イ** に入る文との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **102**

表1 各国のマラリア研究に関する動向

国名	時期	研究対象とした地域
イギリス	19世紀末～20世紀初め	アフリカやインド
日本	19世紀末～20世紀前半	下関条約で獲得した ア
アメリカ合衆国	20世紀初め	パナマ運河開削時のラテンアメリカ
【まとめ】各国のマラリア撲滅を目指した研究は、いずれも イ ために利用されたと考えられる。		

- ① ア—朝鮮 イ—自らの勢力圏や植民地を維持・拡大する
- ② ア—朝鮮 イ—第三世界の台頭に対抗する
- ③ ア—台湾 イ—自らの勢力圏や植民地を維持・拡大する
- ④ ア—台湾 イ—第三世界の台頭に対抗する

第3回ベネッセ・駿台マーク模試 第1問 問3

問3 下線部②に関連して、南部さんは、帝国主義とマラリア対策の関係に关心を持ち、台湾におけるマラリア対策が説明されている資料2を収集した。会話文から読み取れるイギリスのインドにおけるマラリア対策と資料2との共通点を述べた文あ・いと、会話文と図1から推測されるイギリスによるインドの鉄道建設の目的X・Yについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

資料2 台湾総督府警務局衛生課の報告資料（1932年）

「マラリア」は蚊によって伝播し罹患を免れるためには蚊に刺されぬよう蚊帳の使用などが必要であること、罹患すればこれを完全に治さねばならないことなど、個人衛生のほか、公衆衛生の建前から必要である事項に関連し予防思想の向上を図らねばならない。予防方策については蕃人（注）に信じさせなければならないので、講話や図解あるいは活動写真などによって熱心に教養せねばならない。

（注）蕃人：日本人が台湾の原住民を「未開」とみなす認識に基づく呼称。

- イギリスのインドにおけるマラリア対策と資料2との共通点
- あ イギリスと日本はどちらも植民地支配下においている人々を「劣った」存在とみなしたうえで、マラリア対策をしている。
 - い イギリスと日本はどちらも植民地支配下においている人々に対して感染症予防をすることで、マラリア対策をしている。

イギリスによるインドの鉄道建設の目的

X イギリスは、インドの現地住民の交通の便をはかることを主目的として鉄道を敷設した。

Y イギリスは、自国の工業製品の原料を港に集積するために鉄道を敷設した。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

共通テストでは、イギリス、日本、アメリカ合衆国のマラリア研究が取り上げられ、日本が下関条約で獲得した地域や、各国のマラリア研究に共通する目的が問われた。第3回ベネッセ・駿台マーク模試では、台湾におけるマラリア対策を説明した資料を踏まえ、日本とイギリスのマラリア対策の共通点が問われた。いずれもマラリアと当時の植民地支配を関連付けて考察する問題であった。